

## 令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

金沢市立兼六中学校	重点課題	推進校	道徳教育・ICTの活用
-----------	------	-----	-------------

## 1 研究の重点と具体的な取組

重点1 ねらいを明確にした授業づくり

- ・授業のねらいを生徒と教師が共有することで、生徒の学習意欲を高め、共に高め合う生徒を育成することを図る。

重点2 ICTを効果的に活用した授業づくり

- ・ICTを効果的に活用して意見交流を図ることで、生徒自身が意見の深まりや広がりを実感できるようにする。

- ・令和4年度より、研究主題「意欲的に学び、ともに高め合う生徒の育成～ICTを活用した道徳の授業を通して～」のもと、上記2点の研究の重点を設定して取り組んできた。
- ・年度当初に研究主題と研究の重点を全教員で共通理解した上で実践にあたってきた。また、ICTの活用を含む道徳の授業づくりについて教師の力量を高めるため、1学期に外部講師を招聘して道徳に関する校内研修を開催した。



## 2 取組の検証

(1) 教員アンケートより（肯定的回答の割合・数字はポイント）

「授業の目標を生徒と共有する場面を意識して取り入れている」

前期：85 後期：98

「道徳の授業での学習活動を充実させるため、ICTの活用に努めている」

前期88 後期：83

(2) 生徒アンケートより（肯定的回答の割合・数字はポイント）

「授業のめあてをつかんで授業に参加している」

前期：1年生88、2年生86、3年生92

後期：1年生86、2年生87、3年生88

「Chromebookを利用した授業を分かりやすいと感じている（道徳）」

前期：1年生80、2年生87、3年生86

後期：1年生87、2年生84、3年生88



## 3 成果と課題

- ・授業のねらいを明確にすることで、授業に見通しを持つことができていた。道徳におけるICTの活用も、研究授業を実施して効果的活用を図ることができた。教員アンケート、生徒アンケートともに全ての項目で80ポイント以上と、肯定的回答の割合が概ね高い数値になっており、重点的な取組が前項で実践されてきていることが分かる。昨年度より、「ねらいを明確にした授業づくり」「ICTを効果的に活用した授業づくり」を研究の重点として取組を進めてきたことがこの結果につながったと思われる。
- ・一方で、教師アンケート、生徒アンケートともに前期から後期にかけて肯定的回答の割合が上昇したものと低下したものがあつた。年度末にかけて改めて共通理解・共通実践を図ることが求められる。また、ICT活用の実践事例を蓄積し、引き続き効果的活用を図りたい。